



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2019

No. 44 (2020年2月21日発行)

佐高 SGH

高1 海外グローバル研修ネイティブ指導

2月1日(土)と2日(日)の2日間、高校1年生の海外グローバル研修参加生徒が、外国人講師の先生方から課題研究に関して指導を頂きました。今回指導してくださったのは、カナダのディレック先生、フィリピンのロレッタ先生、ガーナのディクソン先生の3名です。どの先生も優しく、ユーモアを交えながら一人一人にきめ細やかなアドバイスをしてくださいました。3クラスに分かれて自己紹介やミニゲームなどでアイスブレイクを行ったり先生方の自国のお話を聞いたりした後、生徒達は各自プレゼンテーションを披露し、アドバイスを受けながら、より良いプレゼンにするため一生懸命練習に励んでいました。また、先生のローテーションをしてスピーキングトレーニングをするなどネイティブの先生方と話せる機会がたくさんあり、とてもいい経験ができたと思います。最後は全班でミニコンテストを行い、2日間の研修の成果を互いに確認し合うことができました。どの班も、研修前と比べて見違えるほどプレゼン能力が向上し、2月26日(水)に控えた課題研究発表コンテストやカナダ研修へのモチベーションも格段に上がったようでした。生徒達にとって非常に実りある2日間になったと思います。

ディレック先生の指導



ロレッタ先生の指導



ディクソン先生の指導



先生の母国についても学びます



質疑応答の練習もしっかりと



念入りに打ち合わせ



各班ユニークな発表です



本日の優勝班！おめでとう！



皆で楽しくミニゲーム！



◎参加した生徒の感想

この2日間の研修を終え、自分たちのプレゼンをより良いものにすることができました。自分たちのグループの中で何回も発表し合い、互いのチームに質問したり、答えたりすることで自分たちのプレゼンをより深く知ることもできました。今回のミニコンテストでは、1位をとることができたので、ぜひ26日も引き続き取れるように練習していきたいです。 1組 出井 公人 さん

英語が母国語の先生方にプレゼンを褒めていただき自信につながった。原稿が発表当日に出来上がったのもあり練習不足だったので、もっと練習して暗記して、魅せるプレゼンにしたい。また、今回の研修で気づいたのだが、私は英語を話すときに声が小さくなってしまうので、日常生活は特に気をつけたい。勉強になる2日間だった。 1組 中島 碧 さん

今回の研修では Activity などを含め、自分たち高校生が分かりやすく楽しめるものにしていただき、いろいろなスキルを身につけることができた。Self Introduction や Speaking Training では、ホームステイ中に使えるような話題を得られた。プレゼンでは、頭では分かっているつもりでも人前では…という場面が多かったので学んだスキルを覚えていくだけでなく、どんどん使い続け自分のものにしたい。 2組 新井 優平 さん

この2日間を通して、プレゼンテーションへの自信が格段に上がったと実感しています。ネイティブの先生に原稿と発表を見直してもらいながら質問にも答えたことで、自分たちの研究について理解がさらに深まり、同時に英語で対応出来るようになりました。メンバー全員で積極的に協力し、ベストなプレゼンを目指して努力出来たこともこの研修の大きな成果です。他の班のプレゼンを見て、たくさん刺激を受けたので、本番まで高い意識を持ち続け、カナダで発表出来る切符をつかみ取りたいです。 3組 相田 紘夏 さん

私がこの2日間の研修を終えて特に感じたことは、「相手の心に届くプレゼンテーション」を作ることの難しさだ。中学校から今に至るまでに様々な内容のプレゼンをしてきたが、今までやってきた「原稿を読みながら聞き手に向かって話す」というスタイルがネイティブの先生方には全く通じず、話し方や表現力など全てにおいてまだまだ改善の余地があると実感した。沢山のアドバイスを頂き、モチベーションもかなり上げることが出来たため、文化会館での研究発表、及びカナダでの研修に向けて、今後更に頑張っていきたい。 3組 五十嵐 羽音 さん

とても充実した2日間になった。プレゼンテーションを良いものにするにはジェスチャー、アイコンタクト、笑顔などの様々な要素があって成り立つものなのだと学ぶことが出来た。また、時間が決まっている中でいかに情報を聴衆に伝えるのか、というところがとても難しかった。さらに、パワーポイントを操作する側もしっかりと間を空けたりするという事も意識していきたい。 3組 猪瀬 遥大 さん

原稿をある程度覚えただけの状況でこの研修が始まり、不安だらけだったが、とても実りのある研修になった。最初の発表練習では台詞が飛んでしまうこともあり焦りが多かったが、2日目には原稿を全く見ずにジェスチャーを入れての発表にまですることができた。講師の人たちの発音やジェスチャーの指導は的確で分かりやすく、またユニークなので練習を楽しむことができた。講師の人たちのサポートのおかげで緊張することなく旭城ホールでの発表で、自分の中で1番納得のいく発表ができた。 4組 矢部 くるみ さん

作成 1年2組 田村 季亜良 1年3組 五十嵐 羽音

課題研究発表コンテスト、カナダ研修共に頑張らしましょう!!!